

# ラファに手を出すな！ ガザ即時恒久停戦を！ もう！子ども・市民を殺さないで！

抗議FAX  
集めています！

## イスラエルガザ侵攻から7か月

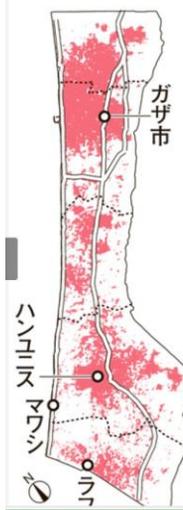


支援団体の食糧の支給に並び子どもたち



ラファ5/5攻撃があった方角を見る子ども

(朝日新聞より)



パレスチナ自治区  
ガザの被害状況  
23年10月の戦闘開始以降。  
ガザ保健省や国連機関のデータから

死者	3万4千人以上 うち子どもが 1万3千人以上
稼働している病院	36のうち 4分の1以下
経済的な損失	約69億ドル 約1兆610億円
再建には最速でも2040年まで かかる見通し	
衛星データから分析した 損害を受けたと見られる 地点 (■)	
データは24年3月。米オレゴン州立大の	

日本政府も  
やっと人道的  
即時停戦を  
表明。  
政府は、武器  
輸出では  
なく  
即時停戦に  
大いに声を  
あげるべき  
です。



ラファ5/1空爆で破壊された建物の前を  
あるく子ども

子どもたちの  
目はうつろに。  
彼らの瞳が私  
たちに訴えて  
います。「今  
すぐ虐殺やめ  
させて!」と。

## 即時停戦の声は全世界で広がる！今、ともに声をあげましょう！



パレスチナの子  
どもたちが「応援  
ありがとう」と返  
信。



アメリカコロンビア大学をはじめ全米140大学で「ガザ侵攻即時停戦、イスラエル軍需企業への投資を大学は止めろ!」との明快なスローガンで、多様な方法での抗議活動が展開されています。当局の抗議つぶしにもかかわらずこの動きは全世界の若者に広がっています。

声を  
出せば  
変えら  
れる!

ブラウン大学はじめ、今後投資について話し合いの場を持つことで事態が進行している大学も複数。その中でバイデン大統領は、「弾薬武器供与中止」とイスラエルに提案せざるを得なくなっています。

## 戦場にはさせない！1800人(沖縄名護4/14)



オール沖縄の「民意・自治・尊厳を守り抜く県民大集会」に玉城デニー知事(中央)も駆けつけ、「新基地は造らせない」と心一つに

4・27もうだまっられへん！行動に参加！「子どもを殺すな!」と声をあげました。

